

小中学校保護者 様

6月1日 学校再開に向けて（お知らせとお願い）

新緑の候、保護者の皆様には、日頃より学校教育の推進に関しまして深いご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

昨年度3月2日より、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、子どもたちの健康を第一に考え、長期にわたる「学校臨時休業の措置」をとらせていただきました。

この間、ご家庭の皆様には、大きなご負担とご心配をおかけすることとなりましたこと、心よりお詫び申し上げます。また、外出規制によって家庭内での生活を余儀なくされた子どもたちは、身体的精神的ストレスを感じながらも、よく約束事を守り、我慢と辛抱をしていただきました。

各学校では、臨時休業期間、感染防止に心がけながら、子どもたちとの心のつながりを大切にしながら、「分散登校」、「学習・生活相談」などの他、小学校1～3年生の学校での一時預かり等を実施してまいりました。また、5月25日からの5日間を、学校再開準備期間として、分散的ではありますが、学校への登校機会を設けさせていただきました。

6月1日より、県の示す警戒度、行動基準を見極めつつ、学校を再開いたします。

しかし、現段階において、新型コロナウイルス感染症に対しては、感染症予防対策を徹底しつつも、感染リスクを完全に「ゼロ」には出来ません。各学校では、県から示された『学校再開に向けたガイドライン』を十分参考にしながら、段階的に、かつ分散化を図りながら学校を再開し、徐々に通常の学校生活が展開できるよう考えてまいります。

学校再開に向けての計画は、各学校からの「お知らせ」をご覧くださいと思います。

なお、子どもたちが安心して学校生活が迎えられるよう、下記に保護者の皆様へのお願いを記述させていただきましたので、ご一読ください。保護者の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

□学校再開に向けてのお願い

①感染症の予防対策について

子どもたちを「感染症」から守るために、教育委員会、学校と連携し、できる限り感染予防対策を講じてまいります。ご家庭に置かれましても、これまで同様、子どもたちの健康管理・健康観察を行っていただき、学校での感染症予防対策のバックアップをお願いいたします。

②差別・偏見・蔑視の排除について

学校では子どもたちへ「感染症への正しい理解」「差別・偏見の防止」について啓発指導を行います。「感染者への差別」「蔑視」などで、子どもが心を痛めたり、悲しい思いをしたりすることのないようにしなければなりません。何よりも感染症を「正しく理解し、正しく恐れる」ことが肝要と考えます。ご家庭でもご指導をお願いいたします。

③感染症が発生した場合の対応について

学校において新型コロナウイルス感染症が発生した場合、人権尊重、個人情報の観点から個人名は公表いたしません。しかし、根拠の無い噂や、心を傷つける言動や風評被害を防止するために、学校名・学年は公表いたします。また、一人でも発症者が出るようなことがあれば、保健福祉事務所、学校医等の指導を受け、直ちに学校閉鎖等必要な措置を考えてまいります。

学校再開に向けて、お知らせとお願いをさせていただきました。よろしくお願いいたします。

令和2年5月25日

安中市教育委員会 教育長 竹内 徹